

会員のみなさまへ

2016年5月

Labo.
日本トイレ研究所

第40回トイレラボ勉強会<拡大版>

災害時におけるトイレ問題と2020年に向けたグローバル対応

トイレラボ勉強会は、毎回ゲストをお迎えして、参加者のみなさんと一緒に意見交換をしながらトイレや排泄のことを考える場です。会員以外の方もお問い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

■テーマ 『災害時におけるトイレ問題と2020年に向けたグローバル対応』

4月14日に発災した「熊本地震のトイレ事情」の報告と、災害時における外国人支援について、難民支援協会の鶴木由美子氏にお話しいただきます。そして、コメンテーターに、東京大学大学院国際地域保健学教室教授の神馬征峰氏に登壇いただき、「2020に向けて私たちが考えていくトイレのミライ」について、皆様と意見交換をします。

■内容

15:10	報告	災害時のトイレ問題について 1. 過去の大震災におけるトイレ問題 2. 平成28年熊本地震のトイレ調査報告 NPO 法人日本トイレ研究所 過去の災害時で起こったトイレ問題と、4/24(日)に熊本市内と益城町のトイレ調査についてご報告します。
15:30	講演	災害時における外国人支援について (仮題) 鶴木 由美子氏 (認定NPO 法人難民支援協会) 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは多くの外国人が日本を訪れます。東日本大震災や関東・東北豪雨、熊本地震の災害現場にも訪れて活動していた鶴木さんに、現場での外国人対応の事例や、困りごとなど、私たちが知っておきたい外国人に対する心構えについてお話しいただきます。
16:40	意見交換	2020年に向けて私たちが考えていくトイレのミライ ～ 外国人にとっては、毎日が「トイレ災害」！？ ～ 世界中から多くの人々が訪れる2020年東京オリンピック・パラリンピック開期中に自然災害が起きるかもしれません。一方で文化の異なる外国人にとっては、日常のトイレの操作方法や和洋式、使い方についても“困りごと”になります。平時から災害時まで、どのような対応が必要になるのでしょうか。訪日外国人が安心して使用できるトイレのあり方について意見交換を行います。 コメンテーター 神馬征峰氏 (東京大学大学院国際地域保健学教室) 鶴木由美子氏 (認定NPO 法人難民支援協会) 進行 加藤 篤 (NPO 法人日本トイレ研究所)

※プログラムは変更する場合がございます。

- 日時 2016年6月23日(木) 15:00～17:30
- 場所 東京大学医学部教育研究棟 13階・第6セミナー室
- アクセス 丸の内線、大江戸線「本郷三丁目」駅 徒歩8分
- 参加費 会員無料 (非会員 1,000円)
- 申込み 氏名、所属、E-mail、電話番号を labostudy@toilet.or.jp までお送り下さい。メールをお持ちでない場合は、お電話にて直接ご連絡ください。



■講師プロフィール



鶴木由美子 氏

認定 NPO 法人難民支援協会 定住支援部・コミュニティ支援担当

慶應義塾大学教育学専攻、カリフォルニア州立大学大学院ノースリッジ校にて異文化コミュニケーション学修士課程修了。移民の子どもたちの教育的・経済的支援をする団体でのインターンなども経験。児童福祉業界の人材支援・経営支援を行うソーシャルベンチャーでの勤務を経て、現職。



神馬征峰 氏

東京大学大学院国際地域保健学教室 教授

1994 年から 2 年間、ガザ地区 WHO 事務所所長。1996 年から 5 年間、国際協力事業団・日本医師会によるネパール学校地域保健プロジェクト・チームリーダー。その後「武見フェロー」として、ハーバード大で国際保健研究を終え、2002 年 7 月より現職。紛争国や南アジアでの生活経験をもとに、健康格差、健康と人権、ヘルスプロモーションをテーマとした研究・教育に従事。

■会場までのアクセス

最寄りの門：懐徳門、赤門



http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_09_j.html

※緊急時連絡先は 事務所 ☎03-6809-1308 または ☎090-5447-5626(当日のみ) まで